

I. 敗血症 DIC の病態

1. 敗血症性 DIC の発症機序— PAMPs, DAMPs, NETs の役割



鹿児島大学病院救命救急センター，システム血栓制御学講座(兼務)講師 伊藤 隆史 (Ito, Takashi)

THROMBOSIS and Circulation



§ 論文のポイント

- [1] 血栓形成は感染防御に寄与している (immunothrombosis).
- [2] Immunothrombosis は単球や好中球などの自然免疫細胞によって誘導される。
- [3] 単球や好中球を活性化する分子として，PAMPs/DAMPs が重要である。
- [4] PAMPs/DAMPs-immunothrombosis システムが制御可能な範囲を越えて拡大し，全身の微小血管を閉塞してしまう状態が，敗血症性 DIC の病態基盤であると考えられる。

§ キーワード

Immunothrombosis / 組織因子 / NETs / PAMPs / DAMPs